

令和6年度第1回宇治市農業振興協議会 会議録

- 開催日時：令和6年8月21日（水）午後2時～午後3時40分
- 会場：宇治市産業会館 1階多目的ホール
- 出席者：11名（7名欠席）
- 傍聴者：1名
- 報道関係者：0名

<次第>

1. 農業振興施策の取組状況について
2. 地域計画策定の進捗状況について

過半数の委員の出席により会議が成立

【会議内容】

1. 農業振興施策の取組状況について
事務局（宇治市）より事業概要を説明
委員による協議、事務局との質疑応答
2. 地域計画策定の進捗状況について
事務局より地域計画についての進捗報告

1. 農業振興施策の取組状況について

【質疑応答】

○新規就農者確保事業について

委員：新規就農者について、令和6年の新規相談中の2名の業種は。

事務局：2名とも茶。

委員：49歳未満となっているが、理由は。年齢を引き上げていかないと生産者はどんどん減っていく。定年後の就農者にも対応してもらえたら。

事務局：国の制度に準じている。今後の検討とさせていただきます。

○農地中間管理事業について

委員：マッチングの順位について聞きたい。

事務局：現に耕作されている方、農地の特性に経営体系が合う方、隣接する農地で耕作されている方、周辺農地で耕作効率が高くなる方、認定農業者・京力農場プランに位置づけされている方・新規就農者。最後に、担い手側の条件に差により一部の担い手に農地が集まっている状況もあり総合的に委員の中で判断。

○地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）

委員：会議参加して、農地の今後の意向を地図で見てわかりやすかった。貸したい人がもっと簡単にできる窓口があればいい。後継者が少なくなり、生産量もすくなくなり、組合としてもどうやって対応していこうか苦慮している。

事務局：昨日の会議では、市外居住の入作の方にも声をかけさせてもらって、普段つながりのない方と話げできた。貸したいという声も聞くが、規模拡

大したいという人が足りない。借りたい貸したいを簡単にスムーズにいくようにあらかじめ将来の耕作者のめどをたてる計画。引き続きよろしくお願ひしたい。

○農業用施設等導入チャレンジ事業（園芸作物用施設整備事業）

委員：鶏糞の乾燥施設には使えないか。

事務局：JA や国と協力して制度設計しているので、もう少し詳しく聞かせてもらって確認が必要。

○農業用施設等導入チャレンジ事業（新規水源確保支援）

委員：対象はパイプハウスの人だけか。茶畑で水源がないところに井戸を掘るのは。

事務局：パイプハウス限定ではない。対象となる。

委員：井戸を掘るのはどれくらいの負担か。

事務局：農地にもよるが過去の例では2本掘って70万円から80万円くらいのパターンもある。

委員：ポンプも含む額か。

事務局：補助対象にはポンプも入る。

委員：ポンプだけ別補助金でも行けるとも聞いた。

事務局：生産性等向上支援の補助金を組み合わせて活用するケースと思われる。

委員：新規だけか。既存の井戸がある場所に緊急用に掘る場合は。

事務局：安定的に農業用水を確保していく位置づけ。面積、農用地であるか、生産緑地化等の条件があるので、一度相談をしてほしい。

委員：巨椋池の水について、水路に藻がたまって流れない。改良区も対応してるが、市から改良区にいいアイデア等あれば伝えてほしい。

事務局：改良区とも情報共有しながら対応していきたい。

○農業情報発信事業、京都フードテック構想連携促進事業（地産地消の推進など）

委員：山城マルシェに出店しているが、宇治市以外の方（出展者）が大変多い。

宇治市の人にも声掛けしていきたいと思うので今後もよろしく。昨年テレビで宇治の野菜で弁当企画やっていた。今後もそういった話あれば積極的にPRして行ってほしい。

委員：食育にも力を入れて行ってほしい。U-CHA（うーちゃ）とか若葉の会とかの活動も力を入れておられる。宇治は茶が非常に盛んだが、宇治茶と野菜の料理など宇治市しかできないものを開発してもらいたい。

委員：主体はお茶と米だが、地域に根付いた新品目の推進してほしい。売れるものの情報を出していくのでそれで利益をあげる生産者を作っていくて欲しい。

○その他

委員：獣害の市の対応、非常にフットワークがよく感心している。土日の対応も検討してもらえたらなおよい。

事務局：獣害対策は現状の対応を引き続きやっていきたい。

委員：お茶への支援はすでに充実しているが昨年野菜農家への支援も要望したところ考えていただいて、生産者からも評価の声を聞いている。

委員：全国紙やテレビ等の取り上げられる機会増えてきた。引き続きPRに力を入れて発信の協力をしてもらえたらありがたい。

委員：お茶への支援は充実しているが、やはり一番は稲作と考えている。荒廃農地が増えるのも、米の値段が低いから。稲作に対して少しでも補助をだして経営がやっていけるようにするのが大事と考えている。

委員：今後もこういった意見交換の機会を作ってもらいたい。

2. 地域計画策定の進捗状況について

【質疑応答】

委員：会議の出席の状況は。

事務局：アンケート回答者がすべて出席しているわけではなく、限られた人にはなっているが、他市町からの参加もある。

委員：地図の色分け検討を。意向が似ているところは同系色に。

事務局：多くの項目がありはっきり区別できるようにしたものだが、議論の必要性に沿って色分けを考える。

委員：アンケート未回答者のところの地図はどうなる。

事務局：まずは令和7年3月をめどに作成するが、毎年見直しして高めていく。

以上